

金沢大学 WPI-NanoLSI
2026 年度 Bio-SPM 技術共同研究
企業向けマッチングプログラム
募集要領

金沢大学ナノ生命科学研究所(WPI-NanoLSI)では、2026 年度 Bio-SPM 技術共同研究課題を募集します。この募集要項は、一般企業に所属される方に向けたものです。大学・研究機関ご所属の方は、<https://nanolsi.kanazawa-u.ac.jp/ja/research/applications/bio-spm/>の「募集要項（大学、公的研究機関向け）」をご覧ください。

1. 共同研究募集の概要

1-1 募集の趣旨

WPI-NanoLSI では、個々の大学や研究機関の枠を超えて、原子分解能/3D-AFM、高速 AFM、走査型イオン伝導顕微鏡（SICM）、細胞測定 AFM といった、独創的な Bio-SPM 技術*を利用した共同研究を推進することで、ナノ生命科学の発展に貢献することを目標に掲げています。本事業で募集するのは、所内の受入れ研究者との共同研究として申請者が実施する、上記 Bio-SPM を利用した研究課題です（所内 Bio-SPM 技術付帯設備を利用するものも含む）。

*各 Bio-SPM 技術については、別紙資料「各 Bio-SPM 技術の概要」をご覧ください。

別紙資料「各 Bio-SPM 技術の概要」

<https://nanolsi.kanazawa-u.ac.jp/ja/research/applications/bio-spm/>

本プログラムは、企業から提案された研究テーマと NanoLSI の Bio-SPM との適合性の審査および NanoLSI 研究者とのマッチングを目的とするものです。既に NanoLSI の共同研究者が決まっている場合は、本プログラムへのご応募は不要です。直接、金沢大学共同研究制度にお申込みください。

1-2 実施内容

NanoLSI の Bio-SPM を利用する、ナノ生命科学及び関連分野の課題を、NanoLSI の受入れ研究者との共同研究として実施していただきます。

1-3 試料に関する注意

*以下の試料は受入れできません。

- ・ P2 レベル以上の遺伝子組み換え生物、BSL レベル 2 以上の病原性微生物とウィルス、その他規制品
- ・ 海外から応募の場合、日本への持ち込みが禁止されている試料

1-4 応募資格

一般企業に所属される研究者及び技術者の方を対象とします。

※NanoLSI アソシエイト (金沢大学ナノ精密医学・理工学卓越大学院プログラム修了者)の方は、一般企業の所属であっても大学・研究機関向けの要項に従ってご応募いただけます。

1-5 研究期間

NanoLSI に来所して実験される期間は、申請書の計画内容を参考に、受入研究者との相談により決定して下さい。

※受入れ研究者の状況により、実施時期の希望に沿えない場合があります。ご了承ください。

※実施日は月～金曜日として下さい。

1-6 応募方法

【応募書類】

以下の 3 点をご提出下さい。

【様式 4】	2026 年度 Bio-SPM 技術共同研究課題 申請書
【様式任意】	申請者（実験責任者）の研究経歴書
【様式任意】	会社概要

*様式 4 は、下記ホームページ（HP）よりダウンロードしてください。

<https://nanolsi.kanazawa-u.ac.jp/ja/research/applications/bio-spm/>

【提出期限】 2026年 11月27日(金)までの期間中随時受け付けます

【提出先】 金沢大学 WPI-NanoLSI Bio-SPM 技術共同研究事務局

〒920-1192 石川県金沢市角間町 Tel: 076-234-4589

E-mail: nanolsi_opf002[at mark]ml.kanazawa-u.ac.jp

※ [at mark] を @ に置き換えてください。

1-7 選考方法及び結果の通知

金沢大学 WPI-NanoLSI 専門委員会が、弊所のBio-SPMとご提案内容との適合性を検討します。ご提案内容が実施可能と認められましたら、弊所内の研究者とのマッチングを行い受入れ担当者（研究者もしくは技術者）を選定します。お申込みから6週間程度で検討結果をお知らせします。

※上記 1-1の募集の趣旨に沿った課題を優先します。申請に当たっては、Bio-SPM 観察に向けた試料調製を既に済ませ、ある程度の予備実験（生化学実験や観察条件の検討、顕微鏡（光学顕微鏡、電子顕微鏡、SPM 等）観察など）を開始していることが望まれます。ただし、予備実験結果のない申請に関しても、内容に応じて受け入れることがあります。

1-8 研究内容等についてのお問合せ先

希望する Bio-SPM 技術の種類（原子分解能/3D-AFM、高速 AFM、SICM、細胞測定 AFM）を明記の上、問い合わせ窓口にメールでお問い合わせください。後ほど、担当者より回答します。

問い合わせ窓口： [nanolsi_opf002\[at mark\]ml.kanazawa-u.ac.jp](mailto:nanolsi_opf002[at mark]ml.kanazawa-u.ac.jp)

※ [at mark] を @ に置き換えてください。

1-9 費用

金沢大学の共同研究制度に則った共同研究費をご負担いただきます。

詳細は「2-1共同研究申し込み」のリンク先をご覧ください。

2. 共同研究の実施

2-1 共同研究申し込み

受入れ通知を受け取られましたら、金沢大学の共同研究制度に則って、共同研究申込の手続きを行った後、共同研究を開始いただくことになります。

https://research-promotion.adm.kanazawa-u.ac.jp/co_research/kyoudou/kyoudou.html

2-2 学術論文での本研究による成果の発表

本事業の効果指標とするため、成果を論文発表された場合は、ご報告くださいますようお願い申し上げます。

3. その他

以下のような点があるご提案の場合、採択が難しい可能性があります。

- ・ NanoLSIのBio-SPMの現行の技術的制約のものでは実施が難しいと考えられるもの
- ・ SPM観察可能な試料が調製可能かどうか、申請書から十分に判断できないもの
(粗精製試料での観察は難しい場合があります)
- ・ 既に類似の研究が報告されており、新規性が十分に示されていないもの
- ・ SPMを用いて何をどのように計測するのかが申請書から明確に読み取れないもの

【補足事項】

- ・ 申請書内の生年月日、年齢、性別 欄について

文部科学省等への評価調書提出時に、共同研究員の「若手研究者数」および「性別研究者数」を報告する必要があるため、本欄を設けています。本欄の記入内容が採否に影響することはありません。なお、記入内容は個人情報として取扱いに十分留意することを申し添えます。